

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. 企業間の連携（オープンイノベーション）

地域特産品を活用した新メニュー・新サービス開発：地元の農家や漁師、食品加工業者と連携し、丹後地方の旬の食材や伝統的な加工品を用いた宿泊プランやレストランメニューを共同開発します。これにより、サプライヤーの販路拡大と旅館の顧客満足度向上を同時に目指します。

DX推進のためのIT企業との連携：顧客管理システム（CRM）や予約システム、施設管理システムなどの導入・改善において、専門のIT企業と協力します。旅館の業務効率化と顧客体験の向上を図るとともに、IT企業のノウハウ活用を促進します。

観光関連事業者との連携強化：周辺の観光施設（例えば、天橋立、伊根の舟屋など）や交通機関と連携し、周遊パスやパッケージツアーを共同で企画・販売します。これにより、地域全体の観光魅力度を高め、相互の集客に貢献します。

d. グリーン化の取組

サプライヤーとの共同でのCO2排出量削減目標設定と取り組み推進：主要なサプライヤーと連携し、食材の輸送方法の見直し（地産地消の推進、共同配送の検討）や、包装資材の簡素化・リサイクル推進など、サプライチェーン全体でのCO2排出量削減目標を設定し、具体的な取り組みを共同で推進します。

環境配慮型の商品・サービスの優先的な調達：環境負荷の低い食材（有機野菜、地元産の旬の魚介類など）や、リサイクル素材を使用したアメニティ、省エネルギー性能の高い設備などを優先的に調達する基準を設けます。サプライヤー選定の際にも、環境への配慮を重要な要素として評価し、サプライヤーのグリーン化を促進します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組めます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

直接の取引先だけでなく、サプライチェーンの更に先まで価格転嫁が可能となるような価格決定を行い、その旨をサプライチェーンの隅々まで伝わるよう情報発信します。

2025年7月25日

株式会社炭平旅館

企業名

代表取締役 中江 幹夫

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。